

9) 総合周産期母子医療センター

スタッフ

センター長 楊 國昌（小児科診療科長）
副センター長 古川 誠志（産婦人科准教授）
看護師長 落合 直美、森田 知子

多摩地区に位置するという立地条件から、カバーする広大なエリアに対して2つしかない総合周産期母子医療センター（総合周産期母子医療センター数=多摩地区：2施設/23区内：11施設）に指定されている。常時母体および新生児搬送受入体制を有し、母体救命を含むハイリスク妊娠、新生児医療に対応している。平成27年度からは母体救命対応総合周産期母子医療センター（スーパー総合周産期センター）の指定を受け、より迅速に母体の救命措置に対応できる体制を整えている。

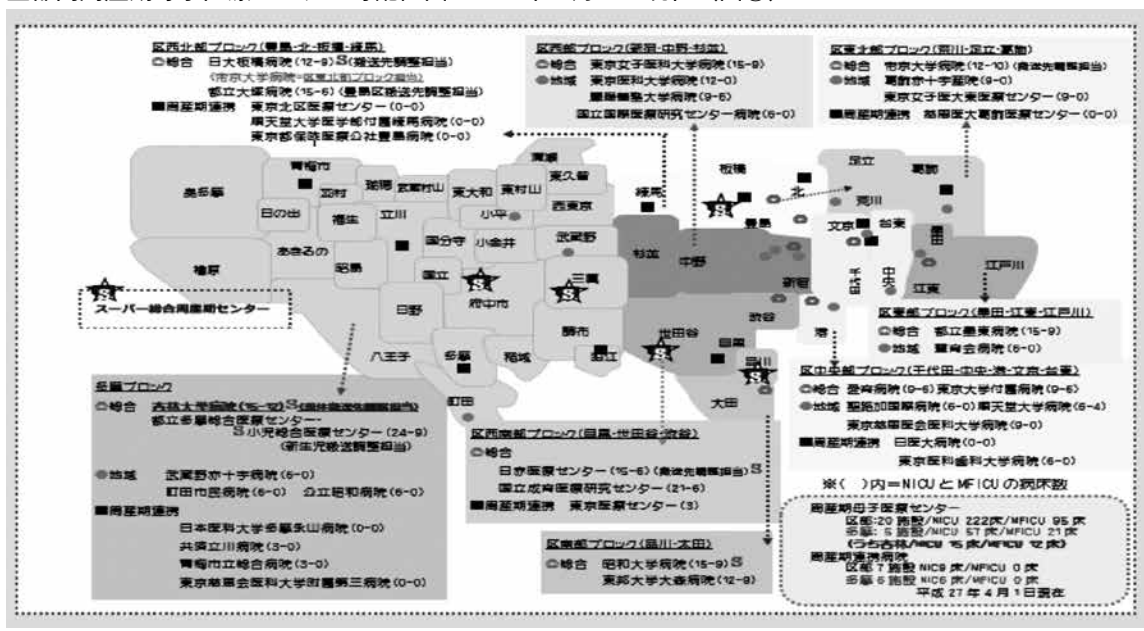
分娩施設の減少や出産に対する高度医療思考の高まりに伴い、本来ハイリスク分娩や3次救命救急を中心に担うべき総合周産期医療母子医療センターに、正常分娩（ローリスク分娩）が集中、さらにハイリスク分娩や救命救急の搬送依頼が増加する中、当院での分娩件数が急増し、やむを得ず平成21年度より、正常分娩の制限を行っている。

また当センターはセミオープンシステムの活用により、地域の1次、2次医療施設との役割分担に努めている。今後も引き続き使命であるべき、ハイリスク分娩・母体管理、母体搬送や新生児搬送の救命救急搬送の受け入れを増やしていけるよう、努力していく。

■産科領域

- 1) ハイリスク妊娠で集中治療管理：切迫流産、妊娠高血圧症候群、常位胎盤早期剥離、子癇発作、多胎妊娠、胎盤位異常、合併症妊娠、高齢妊娠
- 2) ハイリスク胎児で集中治療管理：子宮内胎児発育遅延、先天奇形、染色体異常、胎児機能不全
- 3) 産褥で集中治療管理：産後出血性ショック、産科DIC
- 4) 妊娠中の胎児異常を伴う：子宮内胎児発育遅延、胎児奇形、切迫胎児仮死
- 5) 産後の母体で集中治療管理：産後出血、ショック、産科DIC、子癇発作

■都内周産期母子医療センター等配置図 2015年4月1日現在 (図①)



■セミオープンシステムについて (図②)

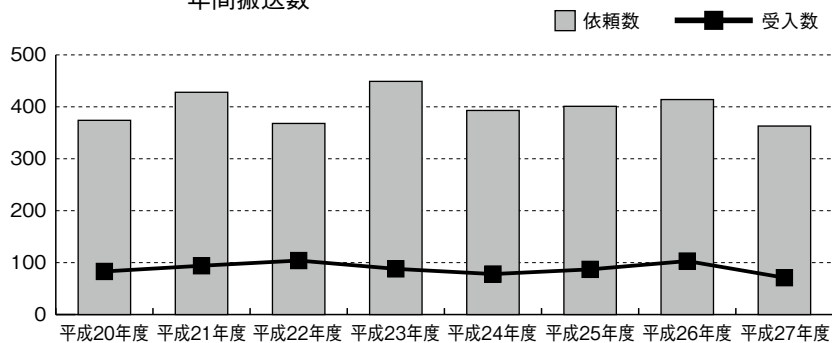


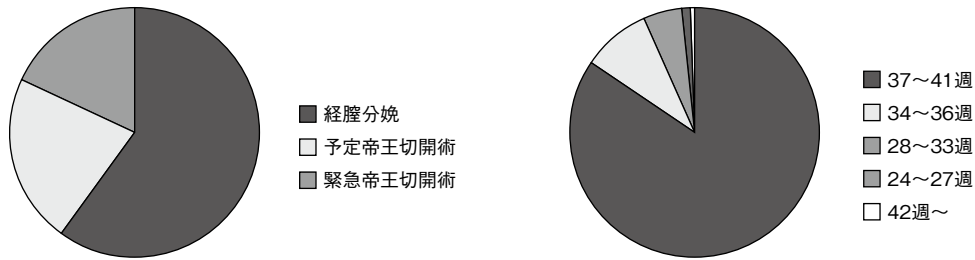
■セミオープンシステム：杏林での分娩希望で合併症やリスクのない方々を近隣医療施設にご紹介し、杏林方式で妊娠34週まで妊娠管理を行っている。その後逆紹介にて当院で分娩まで管理している。この方法に参加した妊婦は妊娠34週未満に切迫早産・早産や妊娠高血圧症候群発症などの異常が出現した場合にはその時点で当科にて対処するシステムである。(厚労省推奨) 2007年10月よりスタート。現在34施設との連携契約を結んでいる。

●産科部門（M-F I C U：12床／後方病床：24床）
患者等取扱状況（妊娠22週以後の分娩について）

分娩	週数別	分娩件数				出産児数			
		単胎	双胎	3胎	合計	生産	死産	合計	
分娩	22～23週	0	0	0	0	0	0	0	
	24～27週	10	0	0	10	10	0	10	
	28～33週	37	5	1	43	49	1	50	
	34～36週	66	16	0	84	90	8	98	
	37～41週	728	34	0	762	795	1	796	
	42週～	1	0	0	1	1	0	1	
	不明	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	842	55	1	898	945	10	955	
分娩	方法別	経膈分娩	540	1	0	541	535	7	542
	予定帝王切開	152	42	1	195	239	0	239	
	緊急帝王切開	150	12	0	162	171	3	174	
	合計	842	55	1	898	945	10	955	
院内出生後、NICU及びGCUに入院した児数					162				
					0				
母体搬送	要請元				要請	受入			
	他の総合周産期母子医療センター				4	1			
	他の地域周産期母子医療センター				23	4			
	一般の病産院				325	63			
	助産所				0	0			
	自宅				1	0			
	その他				10	3			
	搬送元不明				0	0			
	合計				363	71			
	内訳	搬送ブロック内				355	66		
搬送ブロック外				8	5				
他県		神奈川県			0	0			
		千葉県			0	0			
		埼玉県			0	0			
		その他			0	0			
搬送元不明				0	0				
産褥搬送件数					10				
母体救命搬送システム対象症例（スーパー母体救命）受入件数（再掲）				スーパー母体救命として依頼を受けたもの		8			
				スーパー母体救命に相当と事後に判断		0			
胎児救急搬送システム対象症例（再掲）				(要請件数)	3	(受入件数)	2		

年間搬送数





●新生児部門（NICU：15床／GCU：24床）

患者等取扱状況

新規入院患者数		NICU及びGCU			320
出生体重別	1,000g未満	12	1,000g以上1,500g未満		25
新生児期の外科的手術件数					7
新生児搬送	要請元	要請		受入	
		件数	人数	件数	人数
	他総合周産期母子医療センター	6	6	3	3
	他地域周産期母子医療センター	2	2	2	2
	一般の病産院	47	47	37	37
	助産所	0	0	0	0
	自宅	1	1	1	1
	その他	1	1	1	1
	搬送元不明	0	0	0	0
	合計	57	57	44	44
新生児搬送受入率					77.2%